





令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立乙訓高等学校 】

1 実践テーマ	【I・II・V】
2 実施対象者	スポーツ健康科学科 1年生（40名）、2年生（39名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ スポーツI,II,III、スポーツ概論）
4 目標 （ねらい）	公益財団法人日本オリンピック委員会マーケティング担当の脇本昌樹氏から東京2020オリンピック大会組織委員として大会運営に御尽力された経験を聞くことで、オリンピックについての知識を深めることにつなげる。
5 取組内容	<p>■講演会 「東京2020オリンピックの運営・日本代表選手団の舞台裏」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日本オリンピック委員会 マーケティング担当 脇本昌樹氏</p> </div> <p>【内容】 （1）オリンピックとは（オリンピックの歴史） ①古代オリンピック ②近代オリンピック ③日本でのオリンピックムーブメント、 ④オリンピックの開催目的オリンピズム</p> <p>（2）招致活動～組織委員会設立までの経緯 ①開催方法 ②開催意義（復興した姿の発信、東京のPR、オリンピズムの若者たちへの継承） ③国際競技力の向上、インフラ整備 ④関係団体（IOC、IPC、開催都市、政府、組織委員会、JOC、JPC）の役割</p>

	<p>(3) 東京2020オリンピックについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大会概要（競技会場、AD、チケット、選手村、輸送） ②コロナ対策（大会延期の影響、大会時の感染症対策） ③デジタル戦略 ④日本代表選手団の活躍、視聴率 <p>(4) JOC Vision 2064 「スポーツの価値を守り、創り、伝える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①オリピズムが浸透している社会の実現 ②憧れられるアスリートの育成 ③スポーツで社会課題の解決に貢献 ④TEAM JAPAN <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>■座談会 脇本昌樹氏と佐藤光浩氏（本校保健体育科教諭、2004年アテネオリンピック陸上競技400m代表）の対談</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2004年アテネオリンピックの裏話 (2) オリンピアンの特徴（トップアスリートの条件） (3) JOCの業務 <ul style="list-style-type: none"> ①スポーツの発展と選手育成 ②社会貢献活動（東日本大震災復興支援活動）
6 主な成果	東京2020オリンピックを成功に導くための大会運営や社会への働きかけを学ぶことで、スポーツが社会全体に及ぼす影響について学ぶことができた。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	事前学習として、生徒に東京2020オリンピックに関する疑問や質問を考えさせた。その内容をまとめたものを脇本氏にお渡しして、生徒の疑問や質問内容を講演に盛り込んでいただいた。
8 主な課題等	オリンピックを競技者目線ではなく、支える側の視点で学び深められたことは大きな成果であったが、オリンピックが日本で開催されたのにも関わらず、コロナの影響もあり、生で競技を見る機会がなかったことは非常に残念であった。 今後は、日本の一流選手の「動き」や「競技に対する考え方」などを学ぶ機会を設けることを考えていきたい。
9 来年度以降の実施予定	内容について未定